

生活支援相談員紹介

●郡山市 富田若宮前応急仮設住宅



松野 愛です。 杉田 彩です。 遠藤 久仁子です。

今年もよろしくお願いします。

みんなの広場

大玉村の安達太良応急仮設の集会所に、立派な兜のタペストリーが飾ってありました。このタペストリーを作ったのは北崎透子さん。お孫さんのために作ったもので、兜の装飾や金太郎の絵など細部まで丁寧に仕上げてありました。

愛情のこもったとても素敵な5月飾りです。



みでやっぺ100号 掲載作品募集中！

2011年5月1日より創刊された情報紙『みでやっぺ』が、皆様に支えられて発行回数100回目を迎えることになりました。この100号を記念号とし、いつもの『みでやっぺ』とは少し違った内容で、笑顔と情報をお届けするために、皆様からのお便りを大募集します。

皆様の思い出に残る富岡の風景、避難先で知り合った方との写真・手作りの作品の写真・短歌・俳句・メッセージなどを送りください。たくさんのご応募お待ちしております！

いってやっぺみでやっぺ お知らせコーナー

6月下旬～6月上旬

●藍の型抜き体験

日 時：6月10日(火) 10時30分～12時00分
場 所：いわき平交流サロン
材料費：1,000円
申込み：申込制 16名(問合せ先へ)
問合せ：TEL:050-3608-2864
(いわき平交流サロン)
その他：藍染のハンカチに型抜きして白く柄を入れます。
エプロンをお持ちください。

●絵手紙

日 時：5月28日(水) 10時00分～
場 所：いわき四倉交流サロン
参加料：200円
申込み：要予約(問合せ先へ)
問合せ：TEL:0246-38-4355
(いわき四倉交流サロン)

●がま口作り

日 時：5月23日(金) 10時00分～12時00分
場 所：いわき泉玉露交流サロン
参加料：800円
申込み：申込制(問合せ先へ)
問合せ：TEL:0246-38-4242
(いわき泉玉露交流サロン)

●喫茶つつじ(おだがいさまセンター)

日 時：5月22日(お茶うけ隊による煮しめ)、
24日、29日、31日
(毎回10時～12時)

●お茶会(南一丁目応急仮設集会所(富岡側))

日 時：5月24日、26日、27日、31日
6月2日、3日
(毎回10時～13時)

100号記念のアンケートご協力のお願い

『みでやっぺ100号』を町民の皆様の声を反映した内容にするために、アンケート調査を行いたいと思います。今回同封させていただいているアンケートに回答いただき、ご返送下さいますようお願い致します。

ご返送の送料につきましては大変申し訳ございませんが、自己負担でお願い致します。なお、FAXからでも受け付けております(FAX:024-935-3334)。ご協力お願い致します。

富岡町生活復興支援おだがいさまセンター情報紙

めざやっぺ！

97号
2014年5月12日

発行 富岡町生活復興支援
おだがいさまセンター
(社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内)
連絡先 024-935-3332

第7回ホビークリッキングフェア2014出展「～届け富岡のこころ～」

4月24日(木)～26日(土)に株パイク(郡山市)さんのご厚意により、昨年に続き東京ビッグサイトで開催された『第7回ホビークリッキングフェア2014』に、おだがいさま工房郡山と工房IWAKIが出展させていただきました。

今年は過去最大の出展者数で、幅広い手作りホビー＆クラフトの祭典に、1日約4万人の来場者がありました。おだがいさま工房のブースにも、富岡町の方をはじめたくさんの方々が足を運んで下さいました。ギャラリーや販売だけではなく、体験コーナーを設けているブースもいくつかあり、次は是非工房でも体験をやってみたいとの意見も聞かれました。作品のアイディアや展示のレイアウトなど、参考になることがたくさんありました。作品を介してお客様と触れ合うことで、ふるさと富岡の「こころ」を届けることができたのではないかでしょうか。ブースに来ていただいた皆さん、本当にありがとうございました。

届け 富岡のこころ



いざ出展！



東北大「足湯カフェ」

4月27日(日)東北大東日本大震災学生ボランティア支援室の学生25名による『足湯カフェ』がいわきの好間・泉玉露仮設住宅の2ヶ所で同時開催されました。

学生達は震災の語り人の話を聞き、富岡町で現状を視た後、足湯カフェを行いました。学生からは「富岡町の今を知ることができた。もっと話を聞きたかった。」といった声も聞かれました。

足湯の他にも、好間ではタオルを使ったワンちゃんのぬいぐるみ作り、泉玉露では学生による落語が開催されました。どちらの仮設も訪れた多くの方たちで賑わい、参加した皆さんは心身ともに“ホッと”した様子でした。



好間仮設



泉玉露仮設

江の島フラパラダイス&厚木米軍基地イベントに参加しました

4月26日(土)アースデイ湘南実行委員会主催の「江の島フラ・パラダイス」のイベントに、昨年に引き続き、練習を重ねてきた「フラチーム・ワロハ」の皆さんと、富岡町の5才から高校生までの子どもたち家族と合わせて31名で参加してきました。青い空、潮の香りに包まれた江の島サムエル・コッキング苑には1000人を超える方が参加し、心温まるイベントになりました。



参加者全員で集合写真

4月27日(日)は、神奈川県厚木市にある「米軍基地」での子どもイベントに招待をいただきました。子どもたちは基地敷地内でおもいきり体を動かし交流を楽しんでいました。



子どもたちと一緒に

厚木基地でもフラダンス披露



みなさん手芸に夢中です

愛らしく出来あがりました♥

震災の語り人事業

5月1日(木)東京芸術大学の学生さんが、おだがいさまセンターを訪れ、語り人の話を聞きました。油絵を専攻しているという将来の「画伯達」は、外国の方との接触も多く、そのたびに「福島はどうなっているのか?」「被災地の現在は?」「避難している方達の現状は?」と聞かれ、何も答えられないことに心が痛み、「震災の話」を聞きに来ました。

事務局と語り人の小林留美子さん、北崎一六さんの話に聞き入り、仮設住宅の様子も見て、これから自分たちのできることをしっかりと考えてみたいと再訪を約束して帰りました。若い世代の方に語り伝えることの大切さを改めて確信しました。



おだがいさまファーム通信

おだがいさまファームでは、4月11日(金)に、希望者の畑を南東北クボタさんにトラクターで耕していただきました。

おだがいさまセンターにある耕運機では歯が立たないくらいガチガチだった土も、次第にフワフワになっていきました。

一日では希望者全員分は終わりませんでしたが、南東北クボタさんは「また来ます」とおっしゃってくださいました。

畠隊メンバーは「夏野菜の苗を植える準備にかかる」と、気合いが入っていました。



FM便り

こんにちは! 今回は3月から始まりました「浜通りつながるラジオプロジェクト」についてのお知らせです!

浜通りつながるラジオプロジェクトは、南相馬ひばりFMといわきSEAWAVE、おだがいさまFMが連携して、各地域の旬の話題や震災に関する話題などを放送しています。月命日(前後)に放送し、10分番組を各局持ち回りで制作します。

5月の担当はおだがいさまFMで、富岡第一・第二小学校5年生児童とラジオ番組を制作した授業の模様などをお送りします。5月10日の特別番組の中で放送していますので、是非お聞きください(^_^\n)

●5月13日(火)おだがいさまラジオランド ●5月22日(木)おだがいさまわやかモーニング

にも放送します。今後も3局連携して放送していきたいと考えていますのでお楽しみに☆彡

メッセージは
こちらから! メール odfm76.9@gmail.com FAX 024-935-3334 お便り 〒963-8041 福島県郡山市富田町字若宮前32 おだがいさまFM

おだがいさま工房便り

4月28日(月)、平成26年度 第1回目となる工房(郡山・いわき)の交流会&合同ミーティングを、いわき市泉玉露の工房IWAKIにおいて開催しました。出席者は郡山6名、いわき7名、スタッフ5名の計18名。今後の作品制作にあたり、両工房の協同と連携のあり方、自立に向けての対応と対策について、6月に予定されている合同の展示会の持ち方について等々、活発な意見が交換されました。

また、東京ビッグサイト(お台場)で4月24日(木)～26日(土)に開催された「第7回ホビークリッキングフェア2014」の振り返りも行われ、前年にも増して貴重な経験ができたと大好評でした。

ミーティング終了後は、普段郡山といわきで離れて活動しているメンバー全員でテーブルを囲んで、和気あいあいの雰囲気の中での昼食会。おいしい食事をいただきながら、コミュニケーションと制作活動のエネルギーもたっぷり補給し、笑顔で散会しました。



工房郡山からの お知らせ

前回の“うま(牛)くいくよ”ハンカチに続く縁起のいいハンカチの紹介です。ふくろうは、「福ろう」・「不苦労」として、福を招く・苦労知らずと言われています。お世話になっている方への贈り物としていかがでしょうか? ふくろうハンカチの他にふくろうポーチもありますので、興味のある方は、工房までお問い合わせ下さい。



お問い合わせ: 024-953-5312

それぞれの工房の活動を報告

天神夫婦桜まつり

4月19日(土)高柴デコ屋敷(郡山市)にある「天神夫婦桜」の下で「ひよっこ連」の皆さん祭を開催しました。「天神夫婦桜」は、滝桜のちょうど反対の方向にあり、小高い丘の上にある天神様の祠を包むように、天に向かった雄桜と、枝垂れて咲く雌桜との二本が、集まった人々を満開の花で迎えてくれました。丘の麓は菜の花の黄色で埋め尽くされ、その花の間をてっぺんの桜に向かって、色とりどりの衣装を着た「ひよっこ連」の皆さんが踊りながら上っていました。中には、富岡町の斎藤泰助さんや猪狩功さんの姿もあり、三春の仮設や郡山から駆けつけた富岡町民から熱い拍手が贈られました。

踊りの後は、集まった皆さんが手作りのごちそうを広げ、富岡・三春・郡山…と桜の下での交流会。隠れた桜の名所での楽しい時間が過ごせました。



伊達ゆうたコンサート

「どっこいしょっ どっこいしょ」「ソーラン ソーラン」客席との息もぴったりあった音頭の掛け合いが会場に響きました。4月27日(日)おだがいさまセンターにて、郡山市富田町若宮前仮設自治会とカラオケ愛好会主催で「伊達ゆうたコンサート」が開催されました。

伊達ゆうたさんと言えば、「富岡漁港」でメジャーデビューした、富岡町とは切っても切れない縁にある演歌界の「若きホープ」。1月には、いわきでもサロンの「合同新年会」で若さ溢れる舞台で客席を魅了しました。今回も、ピンクの花柄のタキシードに身を包み「富岡漁港」始め数曲を熱唱しました。歌の合間の握手とトークに、60名を越える満席の観客は大満足でした。



緑ヶ丘 クラフト作り

4月21日(月)緑ヶ丘仮設住宅で、本宮市にお住まいの渡辺宮子さんを講師に、クラフト作りが行われました。

約25名の参加者は、午前10時の開始から夕方近くまで、お昼の休憩を挟んで、夢中でかごを編んでいました。講師の渡辺さんの丁寧なアドバイスや、時折飛び交う参加者同士のジョークに、指の疲れもなんのその、皆さん素敵なかごに仕上げました。「家でも作りたい」という方が多く、楽しみがまた一つ増えたようでした。



真剣に作業を進める参加者



素敵なかごになりました

田部井淳子さんと歩こう 『三春の里 花見ハイキング』

春爛漫、絶好のコンディションの中、4月24日(木)三春町出身の登山家 田部井淳子さんと一緒に花見ハイキングが行われました。主催はNPO法人ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト(HAT-J)東北応援プロジェクト。

田部井さんのご主人や息子さんも含め7名のスタッフにエスコートされながら、郡山地区借上げ・南一丁目仮設・緑ヶ丘仮設・富田仮設の各自治会からの参加者39名は、三春城跡・福聚寺・満開の「滝桜」を堪能し、至福のひとときを過ごしました。

三春の里での昼食の後は、のど自慢の参加者による歌謡ショーもあり大変盛り上がりいました。今回の花見ハイキングで、田部井さんの元気を沢山いただいたことが何よりの喜びでした。今後も同様の機会を予定しているそうで、皆さんも是非参加してみてはいかがでしょうか。

